

平成 18 年 度

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日

事 業 計 画 書  
収 支 予 算 書

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会

## 平成 18 年度事業について

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会  
会長 藤田 勲

当協会は、今年度から BGM 提供にかかる「資格制度」を検討していくこととなりました。BGM を提供するにあたってはどのような知識が必要か、ユーザーが目指す環境作りに BGM はどう貢献していけるかが資格の基礎となります。この 2 点は当協会が創立以来 29 年にわたって考え続けてきたことですが、創立当時には思いもよらなかったメディアの発達、価値観の多様化などの社会変化の前で、今日、BGM は大きく揺らいでおります。今回、「資格」という客観的指標を模索することは、BGM の原則に立ち帰り、今日の生活の中で必要とされる音・音楽の機能がいかなるものかを再認識するよい契機であると考えます。

BGM ビジネスには、一般の皆様にも、音・音楽がいかに生活を暖かいものにするかをよりご理解頂くことと、情報の洪水の一方で閉塞感の漂う社会のストレスに対処するための処方箋を提供していくことが、基本として在ると思えます。BGM の性質上、その提供については、パーソナルな空間よりは公共空間で不特定多数を対象にした方法が大半を占めます。そのため、好きな曲を BGM として聴けないという不満がユーザーの声の中に少なからずあります。

もちろん、対象が不特定多数か個人かで、そもそもの BGM 提供の“ねらい”が違いますので、両者を一概にひとくくりにはできませんが、見方を変えれば、個人が好きな音楽を流すことにより得られる心地よい空間作りが、不特定多数を対象にする BGM にも応用可能であると言えます。これは大変に難しいことでもあります。しかし、BGM 本来の目的を再確認することで、社会を変革するまでには至らなくとも、音楽の力を借りて閉塞感にさいなまれる人々に生きる活力を取り戻して頂くという役割を十分に果たすことが出来るのではないのでしょうか。

音・音楽には限りない力があります。BGM は、そうした潜在的な力を目に見える形にして人々に提供し、よりよい空間づくりに貢献することが本意であります。今年度の協会事業計画ではこうした BGM の基本に立ち帰り、「温古知新」のことわざ通り、これまでの BGM を基礎として今日の BGM を創造すべく、積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

平成 18 年度 事業 計画  
自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日

平成 18 年度においては次の事業を実施する。

## 1 . B G M の研究調査及びその助成

### ( 1 ) 研究調査事業の実施

研究調査事業は、5 回シリーズで構成されており、今期事業はその 5 回目にあたる。

研究調査事業では、B G M をはじめとした音・音楽に関する研究調査への助成として、B G M に関わる音楽基礎調査、音楽メディア開発、サウンドスケープ研究、環境音楽研究、音響技術開発、アートマネジメント、医療・福祉と音楽等の領域を対象とし、若手研究者の活動を支援する。今期は下記候補の中から選定して実施し、資料化する。

次の 3 つのテーマより実施する研究を選定する。

医療・療養施設での音楽の利用

地域の特性を生かしたサウンドデザイン制作の可能性

公共空間でのサウンドデザインの在り方 ユニバーサルデザインの視点から

上記テーマに基づいた論文・報告への助成

論文・報告の資料化

B G M 協会セミナーへのテーマ・内容提供

( 主幹：研究開発委員会 )

## 2 . B G M の普及・啓蒙及び指導

### ( 1 ) B G M 協会セミナーの開催

年間 2 回、セミナーを開催し、B G M とその周辺情報をテーマに B G M に関心を持つ人々に情報提供を行う。テーマは、著作権・著作隣接権関わるもの並びに B G M の研究調査事業に関わるものとする。

第 18 回 B G M 協会セミナー ( 平成 18 年 7 月開催予定 )

第 19 回 B G M 協会セミナー ( 平成 18 年 11 月開催予定 )

( 主幹：広報委員会 )

### ( 2 ) ブロック会議の開催

全国各ブロックで開催されるブロック会議を助成し、会員社の情報交換によるコミュニケーションの円滑化を図るとともに、協会の B G M 普及活動への理解を深める。

ブロック会議への助成

各ブロックへの会議企画提供、講師等の紹介

協会事業の説明・報告に必要な協会関係者のブロック会議への派遣

( 主幹：総務委員会 )

### 3. BGMに関する内外の情報の収集と提供

#### (1) 資料室の図書資料等の収集と閲覧

現在協会事務局に収蔵されている資料を整理するとともに新たな資料を収集・整理して、資料室として会員社・一般の閲覧に供する。昨年より設置されたが、本年度も当事業を推進していく。

会員社所蔵資料の収集・整理

新聞・雑誌・インターネット等の情報の収集・整理

(主幹：研究開発委員会)

#### (2) インターネットによる情報の提供

協会ホームページを利用し、収蔵資料のデータベース化を図る。

資料室収蔵資料のデータベース化の検討・実施

データベースの公開閲覧の検討・実施

(主幹：広報委員会)

#### (3) BGM相談室の運営

会員・非会員を問わず、著作権を含むBGMに関する問い合わせには、本年度より広報委員会が対応していく。内外からの問い合わせへの相談員による対応(電話・メール・ファックス等を使用)

問い合わせ内容並びに回答の集積、資料化

(主幹：広報委員会)

### 4. BGMに関する出版物の発行

#### (1) JBA資料の発行

BGMとその周辺の情報を「JBA資料」として発行・頒布する。

研究調査事業の論文・報告書の発行(JBA資料40/予定)

(主幹：研究開発委員会)

#### (2) BGM協会セミナー講演録(旧BGM協会報)の発行

BGM協会セミナーの講演を整文・資料化し、BGM協会セミナー講演録として発行・頒布する。昨年度まで「BGM協会報」の名称だったが、講演録であることを明確に示すため、「講演録」とし、セミナーテーマごと2講演分をワンセットで発行する。なお通し番号は従来からの連続とする。

BGM協会セミナー講演録 Vol.25(予定)の制作・発行(第18回BGM協会セミナー分)

BGM協会セミナー講演録 Vol.26(予定)の制作・発行(第19回BGM協会セミナー分)

(主幹：広報委員会)

#### (3) 会報「TONE<sup>2</sup>通信」の発行

協会活動状況の会員への広報及び会員情報・外部情報伝達等のため、会報「TONE<sup>2</sup>通信」を年6回(隔月)偶数月月上旬に発行する。今期は、Vol.49からVol.54を予定する。

TONE<sup>2</sup>通信の企画立案

情報収集・取材・記事制作

外部への執筆依頼(音・音楽に関するエッセイ)

(主幹：広報委員会)

#### (4) ホームページの運営

協会活動をはじめ、学際研究・ビジネスを含むBGM全般に関わる情報を掲載していく。今年度は、特に会員の日常業務の中から音・音楽に関わる企画をピックアップし、BGMビジネスの実例として紹介していく。またリンク先を増やし、より充実した情報提供を目指す。

協会活動の紹介  
会員の日常業務の紹介  
音・音楽の周辺情報の紹介（主としてTONE<sup>2</sup>通信からのエッセイ・コラムの転載）  
BGMの実例紹介  
外部団体との連絡・情報交換

（主幹：広報委員会）

(5)印刷物の電子メディア化

JBA資料、BGM協会報、TONE<sup>2</sup>通信等の電子メディア化を研究する。

（共同主幹：広報委員会・研究開発委員会）

## 5. その他の事業

BGMの研究開発及び啓蒙普及を図り、わが国文化の進展に寄与することを目的とし次の事業を推進する。

(1)後援・協賛活動の実施

後援・協賛活動として、下記を予定する。

2007 ジャパンショップへの協賛（日本経済新聞社・店舗システム協会主催。3月開催予定）

その他必要に応じて適宜実施

（主幹：広報委員会）

(2)BGMに関わる著作権・著作隣接権の管理・普及支援

BGMを取り巻く録音権、演奏権、複合権に続き、著作権・著作隣接権に関わる調査研究について下記の業務を行う。

BGMに関わる著作権・著作隣接権の管理ルールに関する関係諸団体との折衝

背景音楽用貸出録音物に関する録音権の処理管理の周知徹底

BGMに関わる演奏権の元栓処理管理の周知徹底

インタラクティブ送信における業務用複合権処理の周知徹底

BGMに関わる著作権・著作隣接権に関する情報の提供

（主幹：総務委員会）

(3)その他

協会の目的を達成するために必要な運営上の課題として下記を検討する。

協会名称の変更

会員の拡大

組織・制度の整備

事務局の整備

（主幹：総務委員会）

\*\*\*\*\*

## 平成17年度委員会組織について

今年は以下の3委員会が協会活動を主幹する。

総務委員会  
広報委員会  
研究開発委員会

〔各委員会の担当事業〕

総務委員会

ブロック会議の開催  
BGMに関わる著作権・著作隣接権の管理・普及支援  
協会名称の変更  
会員の拡大  
組織・制度の整備  
事務局の整備

広報委員会

BGM協会セミナーの開催  
資料室の図書資料等の収集と閲覧（研究開発委員会と合同）  
インターネットによる情報の提供  
BGM相談室の運営  
BGM協会セミナー講演録の発行  
会報「TONE<sup>2</sup>通信」の発行  
ホームページの運営  
印刷物の電子メディア化の検討（研究開発委員会と合同）  
後援・協賛活動の実施

研究開発委員会

BGMの研究調査及びその助成  
資料室の図書資料等の収集と閲覧（広報委員会と合同）  
JBA資料の発行  
印刷物の電子メディア化の検討（広報委員会と合同）

# 平成18年度収支予算書案

自平成18年4月1日 至平成19年3月31日

単位：千円

## 1. 収入の部

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1 基本財産運用収入	20	20	0	
2 会費収入	20,208	19,680	528	
正会員会費収入(甲)	5,760	5,760	0	960千円×6社
正会員会費収入(乙)	11,088	10,560	528	26.4千円×42社
賛助会員会費収入	3,360	3,360	0	
3 セミナーの収入	300	1,200	900	1
4 雑収入	300	300	0	2
5 特定預金取崩収入	1,000	0	1,000	3
当期収入合計(A)	21,828	21,200	628	
前期繰越収支差額	8,026	14,826	6,800	
収入合計(B)	29,854	36,026	6,172	

1 参加費3,000円×50名×2回。環境音楽2005分90万円減

2 広告・刊行物・懇親会参加費他

3 17年度支出研究調査事業引当金より

## 2. 支出の部

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1 事業費	12,710	16,500	3,790	
2 管理費	9,390	9,400	10	
3 基本財産繰入	1,000	100	900	
4 予備費	0	2,000	2,000	
5 特定預金支出	1,000	0	1,000	
当期支出合計(C)	24,100	28,000	3,900	
当期収支差額(A-C)	2,272	6,800	4,528	
次期繰越収支差額(B-C)	5,754	8,026	2,272	

### 3. 支出の明細

#### (1) 事業費予算・管理費予算

勘定科目	事業費予算	同前期予算	増減	管理費予算	同前期予算	増減	合計予算	同前期合計	増減
会議費	800	770	30	600	600	0	1,400	1,370	30
臨時雇賃金	100	100	0	100	100	0	200	200	0
旅費交通費	600	480	120	100	100	0	700	580	120
通信運搬費	350	340	10	200	150	50	550	490	60
消耗品費	60	60	0	100	100	0	160	160	0
印刷製本費	1,200	1,100	100	350	350	0	1,550	1,450	100
光熱水料費	0	0	0	190	190	0	190	190	0
賃借料(事務局)	0	0	0	2,160	2,160	0	2,160	2,160	0
保険料	0	0	0	20	20	0	20	20	0
諸謝金	2,550	2,490	60	600	600	0	3,150	3,090	60
租税公課	0	0	0	100	100	0	100	100	0
事務機器リース費	150	0	150	800	650	150	950	650	300
雑費	200	660	460	200	250	50	400	910	510
イベント開催費	0	3,300	3,300	0	0	0	0	3,300	3,300
調査事業引当金	0	1,000	1,000	0	0	0	0	1,000	1,000
非人件費計	6,010	10,300	4,290	5,520	5,370	150	11,530	15,670	4,140
給料手当	6,200	6,200	0	3,100	3,150	50	9,300	9,350	50
賞与	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中退金掛金	100	0	100	70	110	40	170	110	60
退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	400	0	400	700	770	70	1,100	770	330
人件費計	6,700	6,200	500	3,870	4,030	160	10,570	10,230	340
総経費	12,710	16,500	3,790	9,390	9,400	10	22,100	25,900	3,800

(2) 事業費委員会予算の明細

委員会事業 勘定科目	予算	総務委員会			広報委員会				研究開発委員会			他事業
		総会等 会議	名簿制作	著作権他	セミナー	講演録	機関紙	HP運営	研究調査	市場調査	デ-タ'-入	特命
会議費	800	520	0	60	120	0	20	30	20	0	30	0
臨時雇賃金	100	40	10	0	30	10	10	0	0	0	0	0
旅費交通費	600	400	0	100	10	0	30	20	30	0	10	0
通信運搬費	350	40	40	20	10	20	60	50	100	0	10	0
消耗品費	60	10	0	10	10	10	20	0	0	0	0	0
印刷製本費	1,200	120	250	70	20	200	140	0	300	0	100	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料(事務局)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	2,550	0	0	0	450	160	0	100	1,540	0	300	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務機器リース費	150	0	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0
雑費	200	20	20	10	20	10	70	30	10	0	10	0
イベント開催費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査事業引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非人件費計	6,010	1,150	320	270	670	410	350	380	2,000	0	460	0
前年度予算	10,300	1,080	330	200	650	460	330	350	2,100	1,200	300	3,300
増減	4,290	70	10	70	20	50	20	30	100	1,200	160	3,300
人件費計	6,700	760	760	750	540	540	650	540	1,090	0	1,070	0
前年度予算	6,200	1,100	900	900	300	200	300	300	600	0	500	1,100
増減	500	340	140	150	240	340	350	240	490	0	570	1,100
合計	12,710	1,910	1,080	1,020	1,210	950	1,000	920	3,090	0	1,530	0
前年度予算	16,500	1,510	1,500	1,500	720	720	730	720	1,700	1,000	2,000	4,400
増減	3,790	400	420	480	490	230	270	200	1,390	1,000	470	4,400